



Vol.5

工芸デザインを担う人材を育てる!

工芸コースがある

とっかお 十津川高等学校

あなたの周りに、木でできた物って、いくつありますか?よく見ると、ただの木なのに、曲がっていたり捻れていたりと。いったいどうやって作っているんだろう?

林業が盛んな十津川村にある十津川高校工芸コースでは、単に木材を切ったりつなげたりする技術を学ぶだけではなく、大学・専門学校と連携して、木の性質から学ぶ授業が行われています。

木の性質を知ること、木を曲げたりすることができること。

現在は、わっぱ(十津川村の伝統的な弁当箱)を作成し、2年生3年生と進むにつれて、大きな作品に挑戦していきます。



わっぱを作っているようす



K's木材研究所代表の小林好紀先生が木の性質について講義

インタビュー

- ①木工芸の楽しさって?
- ②どんな物を作りたい?
- ③将来の夢は?

とおる
永春 亨くん

- ①自分で物を作っていけるところです。
- ②像を彫ってみたいです。
- ③モノづくりの仕事に関わりたいです。

こまち
木村 小町さん

- ①木を曲げたり今までできないと思っていたモノが作れるところです。
- ②日常的に使える物を作りたいです。
- ③絵を描いたりデザイン関係の仕事に興味があります。



創立150周年を記念して、150kmをたすきリレーで走破しました。

クラブ紹介

ボート部

県内で唯一活動しているボート部。シングルやダブル、5人で乗るクオードブルといった種目があります。新主将の山本大地くんが、「風を切りながら、水の上を進むボートの良さをぜひ知ってもらいたい」と魅力を間かせてくれました。



学校裏のダム湖で練習中



インターハイ出場経験のある剣道部。写真は、神奈川県の高校との合同練習のようす



奈良県立
十津川高等学校

〒十津川村込之上58

☎0746-64-0241 FAX 0746-64-0281

URL www.nps.ed.jp/totsukawa-hs/

普通コースに加え、今年度から工芸コースが設立されました。地域と協力して未来に羽ばたく人材を育てます。

【昨年の進学実績】 大学・短大 約20% 専門学校 約16% 就職 約59% その他 約6%

*背景のキーホルダーは工芸コースの生徒たちの作品です。



約50人の生徒が共同生活を楽しんでいます。

生徒たちの活動にスポットをあて、県内の学校を紹介します。